

2019年4月～6月

こどもアート教室【小学生クラス】 日程表

※毎週月・金曜日 17:00～18:00

4 April

< 4月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18★	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- ⇒ 第1週：何に見えるかな？
- ⇒ 第2週：サクラの壁面飾り
<好きなものを持ち合わせて詰め込むアート>
- ⇒ 第3週：イースター工作
<～たまごに色づけをしてみよう～>
- ⇒ 第4週：お母さんの似顔絵を描いてみよう①
<～お顔を似せるコツ～>



★ ※体験教室の開催日となります。

5 May

< 5月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- ⇒ 第1週：お母さんの似顔絵を描いてみよう②
<～色をぬって完成！～>
- ⇒ 第2週：マーブリング①
<～マーブリングをしてみよう～>
- ⇒ 第3週：マーブリング②
<～マーブリングで夢の世界を表現しよう～>
- ⇒ 第4週：点と線だけで違いを見つけよう
<～表現力を広げる～>



※4/29～5/6はGW期間中の為、休講です。

※似顔絵のモデルは他の身内の方でも結構です。

6 June

< 6月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
					★1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- ⇒ 第1週：お父さんの似顔絵を描いてみよう①
<～似せるコツのおさらい～>
- ⇒ 第2週：お父さんの似顔絵を描いてみよう②
<～色をぬって完成！～>
- ⇒ 第3週：作品カタログ作り
<～違いの認識～>
- ⇒ 第4週：プラバンアート
<～キーホルダー作り～>



※似顔絵のモデルは他の身内の方でも結構です。

※スケジュールは、やむ得ず変更となる場合がございます、その際は事前にご連絡致します。

お問い合わせは【カリカチュア教育事務局】 TEL:03-3845-1445 (平日 10:00~18:00) Email: school@ml.caricature-japan.com

お子さまに学んでいただけること

4 April

第1週：何に見えるかな？

木製の形や大きさの紙を使って絵を描きながら、想像力と発想力を養います。

第2週：サクラの壁面飾り <好きなものを持ち合わせて詰め込むアート>

作品は「1つと冬わり」ではもったいない！
「1つと食卓」こと自分の作品と向き合うこともできます。

第3週：イースター工作 <～たまごに色づけをしてみよう～>

日本ではまだあまり馬鹿染みが少ないイースター祭。
異文化を学びながら楽しく工作をしましょう。

第4週：お母さんの似顔絵を描いてみよう① <お顔を似せるコツ>

彦夏の特徴をフガミとるための観察力や
絵で表現する方法を養います。

5 May

第1週：お母さんの似顔絵を描いてみよう② <～色をぬって完成！～>

出来上がった似顔絵の絵具に色付けをします。
「誰かのために描く」絵具馬鹿染み人を楽しんだり気持ちも育みます。

第2週：マーブリング① <～マーブリングをしてみよう～>

モダンアートテクニックの一つです。
インクを水面に垂らして出来た模様を紙に「写し取り」、色彩の多様性も学びます。

第3週：マーブリング② <～マーブリングで夢の世界を表現しよう～>

紙に「写し取られた」マーブリング模様を使って夢の世界を表現します。
想像力を膨らませることが目的です。

第4週：点と線だけで違いを見つけよう <～表現力を広げる～>

一本の筆で様々な点と線を描きます。
お友だちの作品と見比べることによって他人との違いを認識します。

6 June

第1週：お父さんの似顔絵を描いてみよう① <～似せるコツのおさらい～>

母の日に引き継ぎ、彦夏の特徴をフガミとるための観察力や
絵で表現する方法を養います。

第2週：お父さんの似顔絵を描いてみよう② <～色をぬって完成！～>

出来上がった似顔絵の絵具に色付けをします。
「誰かのために描く」絵具馬鹿染み人を楽しんだり気持ちも育みます。

第3週：作品カタログ作り <～違いの認識～>

「点と線だけで違いを見つけよう」の回でできた作品をカタログにまとめます。
違いの認識の応用である「違いの整理」を本馬鹿染みします。

第4週：プラバンアート <～キーホルダー作り～>

プラバンでオリジナルキーホルダーを作ります。
自分の身に着けられる作品を作ること、作品に込める思いを育みます。